

# 平清盛ゆかりの史跡 福原遷都～兵庫区北部編～



## 平清盛と福原京

治承4年（1180）、清盛は京都を去って福原に遷都することを決定しました。突然の発表に京都は大混乱に陥りましたが、同年6月2日に遷都が断行されます。

安徳天皇は、3日に清盛の弟・頼盛の山荘に入り、翌日には清盛邸に、11月12日には新造の皇居に入られました。しかし、その月の26日には京都に帰還することとなります。

兵庫区の平野・荒田・石井・夢野のあたりには平家一門の別邸が点在し、わずか半年の短い間ではありましたが、都が置かれたこの地は、さぞかし壮観であったろうと思われれます。

ここでは、福原京が置かれた兵庫区北部に残る清盛ゆかりの史跡を紹介します。

# 雪見御所旧跡



石井川と天王谷川の合流点に位置する雪御所町は、清盛の雪見御所の跡といわれています。明治41年に湊山小学校校庭から礎石や土器などが発掘され、この石碑が立てられました。（雪御所町）

# 安徳天皇行在所・福原遷都八百年の碑



現在の荒田八幡神社は、かつて清盛の弟・頼盛の山荘があった場所で、福原遷都の際は安徳天皇の仮の住まいとして使われたと伝えられています。境内には、昭和55年に立てられた福原遷都八百年の碑もあります。（荒田町3丁目）

# 熊野神社



清盛が福原遷都の際に、帝都守護のために紀州の熊野権現を勧請したと伝えられています。  
(熊野町3丁目)

# 夢野八幡神社



清盛が福原遷都に先がけて、都の守護のために創建されたと伝えられています。また、清盛は福原全域が見渡せるこの地で、のろしをあげて、都の位置を測定したといわれます。  
(氷室町1丁目)

# 東 福 寺



東福寺は、旧奥平野村で最も古い寺です。清盛の寄進によって七堂の伽藍を構えていましたが、源平合戦で焼失したと伝えられています。（五宮町）

# 湊川上温泉



清盛邸の近くに湯屋があり、清盛もその湯屋にわたったという記録が残されています。現在も温泉がある湊川上温泉がその地であると考えられます。（湊山町）

## 潮音山上伽寺跡（祇園神社）



現在の祇園神社の裏山にあったと伝えられる山寺で、清盛は海潮の響きを聞きながら経ヶ島築造の計画を練ったといわれます。（上祇園町・平野町）

## 氷室神社



氷室神社の境内にある弁財天は、清盛が福原遷都の際に勧請した七つの弁財天の一つと伝えられています。また、源平合戦の折には、平教経が陣を張った地ともいわれています。（氷室町2丁目）

# 宝地院



宝地院は、清盛のすすめで福原に都を遷した安徳天皇の菩提を弔うために建立されたと伝えられています。（荒田町3丁目）

## 平通盛・小宰相局の五輪塔（願成寺）



願成寺の境内には、源平合戦で討ち死にした清盛の甥・通盛とその夫人・小宰相局らを供養する五輪塔があります。もとは烏原村にありましたが、貯水池建設のため、この地に移されました。（松本通2丁目）

